



日本共産党 蕨市議団 暮らしと営業を応援する 物価高騰対策など 切実な願いを市政に ～予算編成への要望書を提出～

日本共産党蕨市議会議員団

頼高英雄市長（右端）に「2026年度予算編成に対する要望書」を手渡す日本共産党蕨市議会議員団（左から、武下涼、やまわき紀子、鈴木さとしの各議員）



詳細は市議団ホームページ（QRJ-T）をご覧ください

11月18日、日本共産党蕨市議会議員団は党市委員会との連名による「2026年度予算編成に対する要望書」を頼高英雄市長に手渡しました。長引く物価高騰は、暮らしにも地域経済にも深刻な影響を及ぼし、国による社会保障改悪の動きなどにより将来不安が広がっています。提出した要望書では、「織りなすクーポンや水道料金の無料化など、幅広い市民が活用でき、市内事業者の経営を応援する物価高騰対策」など、重点要望29項目、一般項目268項目を要望しています。

すべての市長提出議案を可決 12月議会の報告

12月議会では、一般会計補正予算は、好評な地球温暖化対策設備等設置費補助金の増額などの一般会計補正予算、西公民館等複合施設建設工事の契約締結についてなど20件の市長提出議案を可決。意見が分かれたのは水道の料金や分担金の改定を内容とする「蕨市水道事業給水条例の一部を改正する条例」の1件です。詳細は2面の記事をご覧ください。

物価高騰対策第5弾関連予算などを可決 1月臨時議会の報告

市長提出議案は、蕨市物価高騰対策第5弾の「暮らし応援券給付事業」「子育て応援手当給付事業」に関する補正予算など5件で、すべて可決されました。また、市議会議員報酬の期末手当を引き上げる条例改定（未来の会による議員提案）は、日本共産党市議団、日本維新の会、新翔会、無所属が反対したものの、未来の会と公明党の賛成で可決されました。

幅広い市民を対象 みんなが使いやすい 市内経済を応援 暮らし応援券「織りなすクーポン」

物価高騰緊急対策第4弾の実施が決まってからも、「市民みんなが対象になる対策を」「高齢者でも使いやすい方法を」「お客の減少は深刻。事業者にも支援を」など、物価高騰対策を求める様々な声が寄せられてきました。

日本共産党市議団は、こうした声を議会などで紹介。さらなる物価高騰対策の実施を求めてきました。

蕨市物価高騰緊急対策第5弾

緊急対策の主な内容は以下の通りです

暮らし応援券給付事業

全世帯の家計を応援し、市内の消費拡大を通じて地域経済の活性化、市内事業所への支援を図るため全市民（基準日4月1日）に1人7000円の暮らし応援券「織りなすクーポン」を支給。

●共通クーポン（全取扱店利用可）500円×10枚=5000円・専用クーポン（大型店以外の取扱店利用可）500円×4枚=2000円

●配布期間：令和8年7月

●利用期間：令和8年8月1日～10月31日

子育て応援手当給付事業

●支給対象者：0歳～高校3年生の児童手当支給対象児童10500人、令和7年10月1日から令和8年3月31日に生まれる新生児300人

●子ども一人あたり2万円給付

●令和8年1月末より支給開始

詳しくは、蕨市のホームページなどをご覧ください